

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 東洋合成工業株式会社
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 正輝
 (氏名) 松下 将之

TEL 03-3548-4970

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	10,520	△5.4	631	△30.6	504	△30.8	418	△36.6
23年3月期第3四半期	11,118	21.9	908	—	728	—	661	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 411百万円 (△37.0%) 23年3月期第3四半期 654百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	52.68	—
23年3月期第3四半期	82.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,898	6,581	25.4
23年3月期	22,416	6,217	27.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,581百万円 23年3月期 6,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	1.6	630	△35.5	470	△40.4	430	2.0	54.07

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	8,143,390 株	23年3月期	8,143,390 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	190,867 株	23年3月期	190,791 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	7,952,548 株	23年3月期3Q	8,056,477 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(9か月)の世界経済は、中国・インドを始めとした新興国により牽引された一方、米国での失業率の高止まりや欧州における財政危機の深刻化、また中国においても景気過熱抑制の動きが見られるなど先行き不透明感が強まりました。

日本経済は、東日本大震災後の最悪期を脱し回復基調は続いているものの、依然として高水準で推移する失業率や円高の継続に加え電力供給不安を抱えるなど、自律的な景気回復には厳しい状況が続いております。

このような状況の中、引き続き当社グループは顧客との関係強化に努め、新規製品の開発や既存製品の拡販に取り組みましたが、景況感悪化や円高定着化等の影響を受け、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,520,405千円(前年同期比△597,911千円、△5.38%)となりました。

損益面では、経費削減や原価低減活動等のコスト対策を継続したものの、円高に加え、新工場立上げに向けた人員確保に伴う人件費の増加等により、営業利益は631,167千円(前年同期比△277,687千円、△30.55%)、経常利益は504,268千円(前年同期比△223,995千円、△30.76%)、四半期純利益は418,972千円(前年同期比△242,347千円、△36.65%)となりました。

【感光性材料事業】

半導体用途向け感光性材料は、スマートフォンなどの多機能携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大が継続し、底堅く推移いたしました。一方、液晶用途向け感光性材料は、欧米を中心とした液晶テレビの需要減速に伴うパネルメーカーの稼働率低下を受け、低調に推移いたしました。電解液・イオン液体は、引き続き精力的な需要開拓を進めております。

以上の結果、同事業の売上高は5,127,817千円(前年同期比△496,924千円、△8.83%)となりました。

【化成品事業】

香料材料部門は、新興国を中心に需要は底堅く推移いたしました。当第3四半期に入り円高の影響を大きく受け、売上・利益とも伸び悩みました。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途の需要取込みにより売上高は堅調に推移したものの、第1四半期の原油高の影響および生産設備の定期修繕工事に伴う稼働率低下が利益を押し下げる結果となりました。ロジスティック部門は、荷動き量が若干の弱含みを見せたものの、タンク契約率は高水準を維持しており、売上・利益とも横ばいで推移いたしました。

以上の結果、同事業の売上高は5,392,588千円(前年同期比△100,986千円、△1.84%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は25,898,844千円となり、前連結会計年度末に比べて3,482,196千円の増加となりました。

流動資産は9,529,034千円で、前連結会計年度末に比べて1,505,791千円の増加となりました。これは主に商品及び製品1,159,461千円と現金及び預金609,126千円の増加によるものであります。

固定資産は16,369,809千円で、前連結会計年度末に比べて1,976,405千円の増加となりました。これは主に有形固定資産に係る減価償却費1,244,348千円による減少と建物及び構築物1,130,347千円及び建設仮勘定1,088,048千円の増加によるものであります。

流動負債は12,434,509千円で、前連結会計年度末に比べて2,730,338千円の増加となりました。これは主に流動負債その他に含まれております設備未払金1,670,981千円と短期借入金1,000,837千円の増加によるものであります。

固定負債は6,882,407千円で、前連結会計年度末に比べて387,234千円の増加となりました。これは主に長期借入金380,304千円の増加によるものであります。

純資産合計は6,581,927千円で、前連結会計年度末に比べて364,623千円の増加となりました。これは主に利益剰余金371,257千円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益が通期の連結業績予想を若干上回り推移しているものの、欧米諸国を中心に先行きの景気動向に不透明感が強いことから、平成23年11月10日発表「平成24年3月期 第2四半期決算短信」における通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,076,535	1,685,661
受取手形及び売掛金	2,530,386	2,269,519
商品及び製品	2,970,086	4,129,547
仕掛品	135,569	48,057
原材料及び貯蔵品	996,392	968,502
その他	316,834	430,044
貸倒引当金	△2,560	△2,297
流動資産合計	8,023,243	9,529,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,052,074	5,735,728
機械装置及び運搬具（純額）	2,831,041	2,504,111
土地	4,410,875	4,934,536
建設仮勘定	778,692	1,866,740
その他（純額）	334,749	379,248
有形固定資産合計	13,407,432	15,420,365
無形固定資産		
のれん	21,519	19,625
その他	420,644	396,244
無形固定資産合計	442,163	415,870
投資その他の資産		
その他	558,984	548,200
貸倒引当金	△15,176	△14,626
投資その他の資産合計	543,807	533,573
固定資産合計	14,393,404	16,369,809
資産合計	22,416,647	25,898,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,937,575	2,023,541
短期借入金	6,119,302	7,120,139
未払法人税等	35,434	18,127
賞与引当金	254,622	102,823
災害損失引当金	236,959	154,241
その他の引当金	20,000	—
その他	1,100,277	3,015,636
流動負債合計	9,704,170	12,434,509
固定負債		
長期借入金	4,964,808	5,345,112
退職給付引当金	874,225	908,226
その他の引当金	100,171	105,329
その他	555,967	523,739
固定負債合計	6,495,173	6,882,407
負債合計	16,199,343	19,316,916
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,151,504	3,522,761
自己株式	△83,162	△83,200
株主資本合計	6,228,819	6,600,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,780	△18,334
その他の包括利益累計額合計	△11,780	△18,334
少数株主持分	264	223
純資産合計	6,217,303	6,581,927
負債純資産合計	22,416,647	25,898,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,118,316	10,520,405
売上原価	8,546,476	8,097,267
売上総利益	2,571,840	2,423,137
販売費及び一般管理費	1,662,985	1,791,969
営業利益	908,854	631,167
営業外収益		
受取利息	386	47
受取配当金	5,406	6,538
技術指導料	17,587	18,588
その他	20,248	24,355
営業外収益合計	43,629	49,530
営業外費用		
支払利息	106,081	106,863
為替差損	110,533	57,975
その他	7,606	11,591
営業外費用合計	224,220	176,430
経常利益	728,263	504,268
特別損失		
固定資産除却損	8,548	18,406
固定資産売却損	25	74
投資有価証券評価損	25,877	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,876	—
特別損失合計	46,328	18,481
税金等調整前四半期純利益	681,935	485,786
法人税、住民税及び事業税	4,979	6,738
法人税等調整額	16,303	60,546
法人税等合計	21,283	67,284
少数株主損益調整前四半期純利益	660,651	418,502
少数株主損失(△)	△668	△469
四半期純利益	661,320	418,972

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	660,651	418,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,629	△6,553
その他の包括利益合計	△6,629	△6,553
四半期包括利益	654,021	411,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	654,690	412,418
少数株主に係る四半期包括利益	△668	△469

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,624,742	5,493,574	11,118,316	—	11,118,316
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,225	666,638	667,863	△667,863	—
計	5,625,967	6,160,213	11,786,180	△667,863	11,118,316
セグメント利益	78,739	830,115	908,854	—	908,854

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,127,817	5,392,588	10,520,405	—	10,520,405
セグメント間の内部売上高又は振替高	233	546,077	546,311	△546,311	—
計	5,128,050	5,938,665	11,066,716	△546,311	10,520,405
セグメント利益	22,770	608,397	631,167	—	631,167

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (6) 重要な後発事象
該当事項はありません。